

普及活動情勢報告（令和５年２月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

新たな連携の場を求めて ～農福連携に向けた農作業体験会～



袋詰め作業体験中

２月９日、普及所は本山町にあるエフビットファームこうち株式会社（以下エフビット社）のパプリカ生産施設で、農福連携のための農作業体験会を開催し、嶺北地区の就労支援Ｂ型事業所や社会福祉協議会などから職員５名、利用者１名の計６名が参加しました。

体験会では、エフビット社の職員からの作業内容の説明と質疑応答の後、パプリカの選果と袋詰め作業を参加者が実際に行いました。

参加者からは「工賃の向上につながる情報提供はありがたい」「新たな就労機会につなげたい」などの感想がありました。

普及所は今後も、体験会などで農業者と支援機関との情報共有を支援し、新たな連携につなげていきます。

実証ほの結果を次作へ！ ～ミニトマト部会反省会～



実証ほの報告を行う普及職員

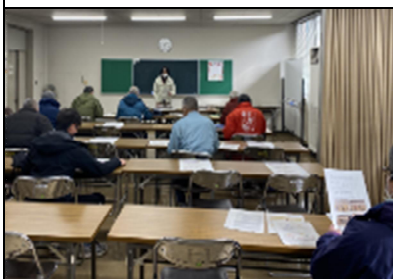
１月２４日、JA高知県れいほく園芸部ミニトマト部会がJA大田口支所で反省会を開催し、生産者、JA、市場、普及所計１０名が参加しました。

反省会では、令和４年度の市場状況や部会の活動報告、先進地視察計画についての報告がありました。

普及所からは４年度の栽培状況とともに着果制限実証ほの結果報告を行いました。生産者からは摘花の数や、果重への影響など、実証についての具体的な質問がなされ、関心の高さがうかがわれました。

普及所は次作でミニトマトの実証効果の検証を行い、高品質安定生産につなげていきます。

さらなる高収量・高品質を目指して ～酒米生産者組合反省会～



今年度の品質について説明する普及指導員

１月２７日、土佐酒造酒米生産者組合が反省会を開催し、生産者８名、土佐酒造１名、普及所２名が参加しました。

普及所からは、今年度の生育概況や収量及び品質について説明し、あわせて酒米品評会の結果について情報提供を行いました。生産者からは「今年度はごま葉枯病に悩まされた。一方で、品評会では入賞者も増えたので、次年度はさらに上を目指したい」と前向きな意見が出されました。

普及所は今後、病虫害防除と収量・品質向上に向けて指導するとともに、当組合が取り組む高知県版ＧＡＰの中で是正が必要な項目について改善の支援を行います。

有望品種を探索！ ～土佐れいほく Confidence Flower 視察研修～



質疑をすすめる普及指導員

JA 高知県土佐れいほく Confidence Flower は、1 月 18、19 日に宮崎県、熊本県の草花栽培農家及び種苗会社展示会への視察を実施し、生産者 3 名、JA 1 名、普及所 1 名が参加しました。

参加者は、ラナンキュラス、ラックスとトルコギキョウの有望品種の見学や、栽培管理全体に関する情報収集を行いました。普及所は、球根掘り上げ後の管理についての質問をうながすなど、嶺北地域の栽培に必要な情報が得られるよう支援を行いました。

生産者からは、「現地に出向くことで有益な情報を得られる、得たものを活かし産地の発展に繋げたい」との声が聞かれました。

普及所は今後も、地域の花の生産拡大に向けて、JA と連携して現地視察などの取組を支援していきます。